

## 一般社団法人至誠会「女性のための福祉事業の研究団体助成」規則

第1条 一般社団法人至誠会「女性のための福祉事業の研究団体助成」は、当法人の資金をもって行う。

第2条 助成金の授与は毎年若干団体とする。

第3条 本助成は、女性の心身の健康と福祉または男女共同参画推進等の研究をしている団体で、主たる構成員が女性である団体を対象とする。  
前各号の規定に係わらず、本助成の受賞歴がある団体、申請者が一般社団法人至誠会正会員でない東京女子医科大学医学部卒業生である団体は、申請資格を有しない。

第4条 助成期間は原則1年とする。

第5条 申請に必要な書類は次のとおりとする。

- (1) 申請書
- (2) 代表者・団体略歴（設立年月日・設立者・構成員・後援団体等）
- (3) 研究、啓発活動状況を示すパンフレット、論文等

第6条 申請受付期間は、毎年2月1日から3月末日までとする。

第7条 選考委員会は、毎年4月に開催する。

- 2 選考委員会は、申請書を審議の上、被授与者を選定し、理事会に報告する。
- 3 被授与団体への結果の通知は、選考委員会開催後4日以内に行うものとする。
- 4 助成金の授与は、6月末日までに行うものとする。

第8条 被授与者は、次に掲げる義務を負う。

- (1) 被授与者は、授与式に必ず出席（WEB開催の場合は、当日傍聴）しなければならない。欠席する場合は事前に、代理人が出席（WEB開催の場合は、当日傍聴）する旨を本会に報告する。  
当日、本人もしくは代理人が欠席した場合、助成金授与を辞退したものとみなす。

- (2) 被授与者は、本助成金授与の翌年8月末までに本賞による研修・研究に関する報告書（論文形式2,000字～2,500字）を提出し、これが機関誌『女醫界』に掲載されることを承諾する。
- (3) 被授与者は、本助成金による研修・研究を論文発表する場合には、本賞による研修・研究であることを明記し、当該論文のPDFファイルおよび別刷3部を提出し、機関誌『女醫界』に掲載される場合、これを承諾する。
- (4) 被授与者は、当会から要望があった場合には、社員総会において、当該研究に関する発表を行うことを承諾する。
- (5) 本賞で購入した機器等は、被授与者に寄贈するものとする。

第9条 次のいずれかに該当する時は、給付した助成金の返還を求める。

- (1) 偽りその他不正な手続きにより助成金の給付を受けたことが判明したとき
- (2) 助成金をその目的以外に使用したとき
- (3) 第8条に定める被授与者の義務を怠ったとき
- (4) 代表者が助成金授与後、6カ月に満たない期間で申請時の勤務先から異動した場合は、異動日から6カ月以内に助成金額の半額を返還、翌年の社員総会での研究発表及び論文への謝辞記載を承諾する。
- (5) その他、本助成金の被授与者として妥当ではないと本会が判断する事実があったとき

第10条 この規則の改廃は、業務執行理事会において決議し、理事会の承認を得て行う。

平成30年10月25日 定例理事会承認  
令和3年7月29日 定例理事会 改定・承認  
令和6年12月26日 定例理事会 改定・承認